



# 平成30年3月期 中間年次報告書

自 平成29年4月 1 日  
至 平成29年9月30日

アトミクス株式会社



拝啓 平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの平成29年4月1日から平成29年9月30日までの業績を取りまとめましたので、その概況についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

平成29年12月

代表取締役社長 **神保 敏和**

## 目 次

- 株主の皆様へ…… 1 頁
- 営業の概況・  
通期の見通し…… 2 頁
- 事業の概要…… 3 頁
- 業績の推移…… 4 頁
- 四半期連結  
決算報告(要約)… 5 頁
- 会社概要・株式情報… 6 頁

## 営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、継続的な政府及び日銀の景気対策により緩やかな回復基調が続いているものの、地政学的リスクの高まりや新興国経済の減速懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような状況のもと、当社グループは、お客様の「お困り事」をいち早く解決、お客様目線で製品開発し「満足」をお届けすることを社員一人一人が意識し、営業活動及び製品開発を行ってきました。また、関連する展示会等に出展、業界紙をはじめ各種媒体を利用した広告宣伝活動のほか、新たにフェイスブックを開設するなど積極的に企業PRに努めてきました。なお、平成27年8月17日に解散及び清算の決議をした阿童木（無錫）塗料有限公司につきましては、平成29年6月12日に清算終了しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高50億45百万円（前年同期 48億51百万円）、営業利益2億円（同 1億1百万円）、経常利益2億12百万円（同 78百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億43百万円（同 4億26百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

### 〈塗料販売事業〉

道路用塗料においては、路面標示用塗料が順調に推移したため前年を上回りました。床用塗料においては、水性製品は順調に推移しましたが工場改修案件の減少により前年を下回りました。建築用塗料においては、戸建市況の減少と8月の長雨の影響により屋根用塗料が伸びず前年を下回りました。家庭用塗料においては、インターネットによる販売チャネルの拡充に取り組んでいますが、ホームセンターをはじめとする小売流通での不振により前年を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の塗料販売事業の売上高は前年同期と比べて1億88百万円増加し、48億18百万円（前年同期比 4.1%増）となりました。

### 〈施工事業〉

床材工事は前年を下回ったものの、子会社アトムテクノスで道路施設整備工事の売上計上により前年を上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の施工事業の売上高は前年同期と比べて5百万円増加し、2億26百万円（前年同期比 2.5%増）となりました。

## 通期の見通し

平成30年3月期の通期業績につきましては、上昇する原油価格に連動した原料価格の高騰、個人消費低迷の長期化、海外情勢による影響が懸念され不透明な状況が続くと予想されますが、当社グループは「お客様のお困り事をいち早く解決する製品とサービスを提供する」ことに注力することにより、売上高117億円（前連結会計年度 106億28百万円）、営業利益6億20百万円（同 5億33百万円）、経常利益6億30百万円（同 5億27百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益5億20百万円（同 7億63百万円）を見込んでいます。

# 事業の概要

## 当社グループの概要

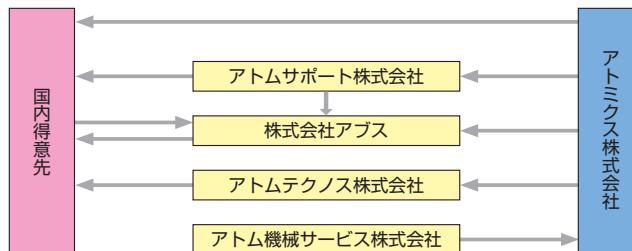
当社グループは当社及び国内子会社4社で構成し、塗料販売事業と施工事業を行っています。なお、平成27年8月17日付けで解散及び清算の決議をした阿童木（無錫）塗料有限公司は、平成29年6月12日に清算終了しました。

塗料販売事業では道路用塗料、床・屋根・防水などの建築用塗料、家庭用塗料、コンクリート構造物の保護・補修材の製造販売を行っています。

このほか、道路用塗料の施工機械の製造販売、交通安全や生活環境のインフラの維持管理に係るソフトウェアの開発と販売、物流業務を行っています。

また、施工事業では当社グループで製造した製品を用いた工事の請負を行っています。

当社グループの構成



## 経営の基本方針

当社グループは、塗料・交通安全の領域において「独創性に溢れた発想」と「高度な複合化技術」によって開発した製品と関連するサービスを提供することにより「安全かつ快適な住環境・屋外環境」を実現し、「生活者との信頼関係」を築くことで「社会に貢献すること」を経営の基本方針としています。

また、塗料販売事業と施工事業において、床用・屋根用・防水用などの建築用塗料、DIY用・ホームケア商品などの家庭用塗料、路面標示材などの道路用塗料と施工機械、これらに関するサービスを提供し、それぞれの分野でナンバーワン・オンリーワンを目指します。

代表的な製品群は次のとおりです。

### (1) 路面標示用塗料



水性路面標示用塗料の速乾化工法をはじめ、水性型、溶剤型、溶融型のJIS規格品をはじめとする各種製品で交通安全に貢献しています。

### (2) カラー舗装材



高速道路の進入箇所や歩車道分離・自転車通行帯などのカラー化により、走行区分を明確にし、交通事故の防止に貢献しています。

### (3) 床用塗料



工場や倉庫のコンクリート床について、新設から改修まで、幅広い製品と工法でニーズに合わせた快適に働く環境づくりに貢献しています。

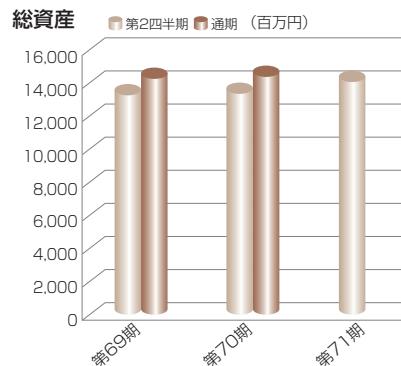
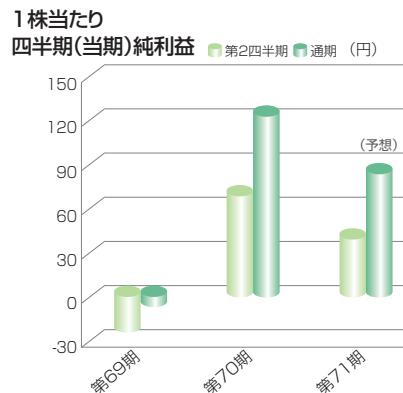
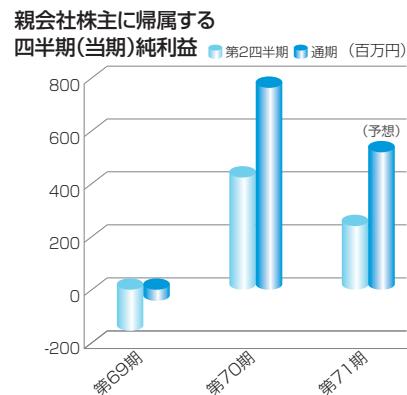
### (4) 屋根用塗料



屋根の美化・保護に加えて高耐久性や遮熱性能を付加した製品で快適な生活と働く環境に貢献しています。

# 業績の推移

## 当社グループの業績の推移



区 分	第69期 平成28年3月期		第70期 平成29年3月期		第71期 平成30年3月期	
	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期 (予想)
売上高 (百万円)	5,095	11,363	4,851	10,628	5,045	11,700
経常利益 (百万円)	66	361	78	527	212	630
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益(△は損失) (百万円)	△ 154	△ 42	426	763	243	520
1株当たり四半期 (当期)純利益(△は損失) (円)	△ 24.82	△ 6.87	68.32	122.34	39.00	83.23
総資産 (百万円)	13,226	14,226	13,323	14,350	14,040	—
純資産 (百万円)	8,472	8,590	8,938	9,323	9,458	—

# 四半期連結決算報告(要約)



## ■ 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前期末 平成29年3月31日現在	当第2四半期末 平成29年9月30日現在
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	8,849,405	8,425,734
固定資産	5,501,426	5,614,870
有形固定資産	4,174,682	4,452,383
無形固定資産	223,499	213,849
投資その他の資産	1,103,244	948,637
資産合計	14,350,831	14,040,605
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	3,928,893	3,567,527
固定負債	1,098,651	1,015,024
負債合計	5,027,544	4,582,552
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	9,009,032	9,157,879
資本金	1,040,000	1,040,000
資本剰余金	692,570	692,570
利益剰余金	7,680,728	7,827,968
自己株式	△ 404,266	△ 402,659
その他の包括利益累計額	314,254	300,174
その他有価証券評価差額金	236,975	304,519
為替換算調整勘定	82,371	—
退職給付に係る調整累計額	△ 5,092	△ 4,345
純資産合計	9,323,286	9,458,053
負債純資産合計	14,350,831	14,040,605

## ■ 四半期連結損益及び包括利益計算書

(単位：千円)

科目	前第2四半期 平成28年4月1日～ 平成28年9月30日	当第2四半期 平成29年4月1日～ 平成29年9月30日
売上高	4,851,091	5,045,371
売上原価	3,318,474	3,447,530
売上総利益	1,532,617	1,597,841
販売費及び一般管理費	1,431,025	1,397,516
営業利益	101,591	200,324
営業外収益	10,841	16,344
営業外費用	33,503	4,573
経常利益	78,929	212,096
特別利益	0	112,371
特別損失	26,458	81
税金等調整前四半期純利益	52,471	324,386
法人税、住民税及び事業税	17,096	22,650
法人税等調整額	△ 391,193	58,055
四半期純利益	426,568	243,680
親会社株主に帰属する四半期純利益	426,568	243,680
その他の包括利益	17,423	△ 14,080
四半期包括利益	443,991	229,600

## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	前第2四半期 平成28年4月1日～ 平成28年9月30日	当第2四半期 平成29年4月1日～ 平成29年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	533,237	281,203
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 106,435	△ 451,774
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 186,182	△ 187,911
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 9,291	2,771
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	231,327	△ 355,710
現金及び現金同等物の期首残高	2,340,615	2,808,549
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,571,942	2,452,838



## 1. 会社概要

商号 アトミクス株式会社  
 本社 東京都板橋区舟渡三丁目9番6号  
 創業 昭和12年2月  
 資本金 10億4,000万円  
 従業員数 228名 (従業員数に嘱託社員を含めています。)

## 2. 主要な事業所及び工場

本社 東京都板橋区  
 支店 大阪府大東市  
 営業所 札幌・仙台・新潟・横浜・  
 名古屋・広島・福岡  
 工場 加須・久喜・岡山

## 3. 役員

代表取締役社長 神保敏和  
 取締役 船橋輝男  
 江森邦昭  
 村岡正己  
 花形裕透  
 小川博巳  
 富士田学  
 田中滋子 (社外・独立役員)  
 常勤監査役 佐藤亮介  
 監査役 上原左多男 (社外・独立役員)  
 石川伸吾 (社外)

## 4. 株式の状況

発行可能株式総数 30,000,000株  
 発行済株式の総数 7,242,000株  
 株主数 1,018名  
 大株主 (上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
西川不動産株式会社	978千株	15.21%
アトミクス取引先持株会	953	14.83
東京中小企業投資育成株式会社	700	10.88
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	321	4.99
西川正洋	280	4.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (株式付与ESOP信託口・75715口)	179	2.79
東洋テック株式会社	126	1.95
アトミクス社員持株会	113	1.76
楠本化成株式会社	106	1.64
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	106	1.64

※持株数については千株未満を、持株比率については小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。また持株比率は株式付与ESOP信託口が保有する179,600株を除いた自己株式(812,614株)を控除して算出しています。

## 5. 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日  
 期末配当金受領株主確定日 3月31日  
 中間配当金受領株主確定日 9月30日 (中間配当を実施するとき)  
 定時株主総会 毎年6月  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 同事務取扱場所・特別口座管理機関  
 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 同連絡先  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 東京都府中市日鋼町1-1  
 電話 0120-232-711 (通話料無料)  
 同送付先  
 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 上場証券取引所 東京証券取引所  
 証券コード 4625  
 公告の方法  
 電子公告 URL <https://www.atomix.co.jp>  
 (やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞により公告いたします。)

**ATOMIX**

<https://www.atomix.co.jp>